

平成27年 第4回定例会

一 般 質 問

[個 人 質 問]

印 西 市 議 会

順 番	議員番号	議 員 名	質問方式
1	6 番	櫻 井 正 夫	一問一答
2	1 4 番	増 田 葉 子	一問一答
3	9 番	海老原 作 一	一問一答
4	2 0 番	山 田 喜代子	一問一答
5	2 番	稲 葉 健	一問一答
6	3 番	小 川 利 彦	一問一答
7	4 番	玉 木 実	一問一答
8	7 番	浅 沼 美弥子	一問一答
9	1 2 番	中 澤 俊 介	一問一答
1 0	1 6 番	山 本 清	一問一答
1 1	1 5 番	松 尾 榮 子	一問一答
1 2	1 7 番	軍 司 俊 紀	一問一答
1 3	1 8 番	金 丸 和 史	一問一答
1 4	1 番	伊 藤 真 一	一問一答
1 5	5 番	米 井 重 行	一問一答
1 6	2 1 番	橋 本 和 治	一問一答
1 7	8 番	岩 崎 成 子	一問一答

質 問 1

質問者 6番 櫻 井 正 夫

1 いのししの被害対策について

- (1) 生息範囲は拡大しているか伺います。
- (2) 実りの秋の被害報告はあったか伺います。
- (3) 11月から獣の捕獲が解禁されて猟友会との連携はされているか伺います。

2 教育行政について

- (1) 新住居地には新学校の新築は義務付けられているのかを伺います。
- (2) 分散して学校別に人数の調整は出来ないかを伺います。
- (3) 子供達の教育の様式についてお聞きします。

3 バス運行について

- (1) 日医、印西総合病院、西佐倉印西病院を結ぶバス路線は出来ないかを伺います。

質 問 2

質問者 14番 増 田 葉 子

1 これからの介護予防

介護保険法の改定で、二次予防事業と要支援認定者の介護予防サービスが再編されて「新しい総合事業」が創設されることになり、印西市は今年度中に実施する方針で進めようとしています。しかし、給付から事業に切り替わることで介護報酬が実質的に下がり、要支援認定者の生活が困難な状況になる可能性があります。

平成18年度から始まった介護予防事業は、その成果が何も検証されないまま保険制度から押し出され、これからは地域住民が担っていかなければなりません。

印西市の第6期介護保険計画によると、一般高齢者の3割近くが将来の介護リスクの高い二次予防判定者であり、3割に認知症の疑いがあり、閉じこ

もり、うつ傾向にあるとされています。危機的な状況が地域で静かに進行しています。

そこで、以下の点を確認しながら、これからの介護予防のあり方を考える契機としたいと考えます。

- (1) 二次予防判定者の推移と予防事業の実施率はどうなっているのか。
- (2) これまでの介護予防事業の成果をどのように評価しているか。
- (3) 介護予防はこれからどう変わらなければならないのか。
- (4) 介護予防とは本来は何を行うことだと考えているか。

2 特別支援教育と子ども発達センターの役割

ニュータウン地区の宅地開発に伴い子ども人口が増加しています。近年、特別な支援を要する子どもが増加傾向にあると言われていますが、子ども人口が増えていく中で、発達に援助が必要な子どもも増えていると予想されます。ここ数年、保育園が次々に開園していますが、子ども発達センターへの需要は増加していないのでしょうか。

現在の子ども発達センターは、簡易マザーズホームとして平成5年に設立され、自立支援法の施行に伴い子ども発達センターとなり、相談支援の中核機関として位置づけられました。その後、総合支援法も成立していますが、支援内容、教育部局との連携体制はどのように推進されてきているのでしょうか。

今年度は障害者基本計画の最終年度であり、現在、障害者福祉計画と連動させ、新たな障害者基本計画が議論されていることと思います。そこで、以下の点を、福祉部局、教育部局の双方にお伺いいたします。

- (1) 発達に支援が必要とされる子どもの推移はどうなっているか。
- (2) 特別支援学校と地域の特別支援学級に進学する子どもの割合はそれぞれどのくらいか。また、近年の傾向はどうなっているか。
- (3) 子ども発達センターとは子どもにどのようなかわり方をするところか。
- (4) 教育委員会では療育をどのようにとらえているか。

質 問 3

質問者 9番 海老原 作 一

1 平成27年「住みよさランキング」の結果について

株式会社東洋経済新報社（以下、東洋経済という）は全国の全市を対象に「住みよさランキング」を毎年公表し、本年で22回目の公表となりました。平成27年6月22日現在の791都市を対象にした最新の評価結果が公表され、印西市は、4年連続総合評価1位となりました。この総合評価は、安心度、利便度、快適度、富裕度及び住宅水準充実度の5つに分類し、15の指標を用いて偏差値を算定して、その単純平均値を以て総合評価のランキングとしたものです。そこで、この総合評価は東洋経済による独自の観点から、国、県の統計資料等を用いて評価したものであることを考慮しつつ、印西市は、その結果をどのように受けとめ、今後のまちづくりをどのように推進していくのかについて質問をいたします。

(1) 分類別ランキングをそれぞれどの様に受けとめたのか。

- ①安心度について
- ②利便度について
- ③快適度について
- ④富裕度について
- ⑤住宅水準充実度について

(2) 「住みよさランキング」から見えてくる印西市の課題について

(3) 住みよさを実感できるまちづくりにどの様に取り組んでいくのか。

2 空家対策について

6月定例会において、印西市の空家対策の推進に対する印西市の対応について質問をいたしました。その後、印西市内においても適正管理されていない空家が近隣住民の生活環境に深刻な影響を与えているという事例が発生していることが分かりました。また、国の空家等対策の推進に関する特別措置法が関連規定も含め完全施行され、6カ月が過ぎるところからあらためて印西市の対応について質問いたします。

(1) 市民から空家対策について相談があった件について

- ①市民からの相談に対する対応について
- ②現在の体制で十分な迅速対応ができるのか。

(2) 印西市内における空家の実態調査について

(3) 空家対策条例の制定について

- ①特別措置法による対応で十分と考えるのか。

- ②特定空家の認定をどのように行うのか。
- ③空家対策条例が必要ではないのか。

質 問 4

質問者 20番 山 田 喜代子

1 来年2016年度（平成28年度）の予算編成について

- (1) 市長の任期、最後の予算編成についての考え。
- (2) 前市長の施策との違いは何か。
- (3) 板倉市政ならではの独自の施策は何か。

2 「公共交通の充実」と「高齢者福祉の充実」

「第2次基本計画」の策定にあたっての基本的視点は、3本あり、そのうちの(2)は、市民の意見を反映した計画作りとある。

「市民満足度・重要度調査の結果」によると、要望の高い（今後、特に力を入れてほしい）項目として、「公共交通の充実」と、「高齢者福祉の充実」とある。

(1) 公共交通について

ふれあいバスは、布佐ルート、及び印旛支所ルートにおいては増便などの改善がはかられてきた。今後は「駅圏間のネットワークの充実や増加する高齢者の配慮、北総線の運賃値下げについて、引き続き取り組んでいく必要がある。」としている。どう計画に取り組んでいくのか。

(2) 高齢者福祉について一介護現場の人手不足対策を

2025年度には約248万人の介護人材が必要となるが、現状のままでは約30万人の人材不足が生じると、厚労省が試算。資格取得の研修支援や潜在介護福祉士の再就業促進などを実施する。これらの補助制度を活かした人材育成の取り組みが必要と考えるが、市として、どう取り組んでいく考えか。

3 市民の住生活・住宅施策に関する基本計画である「印西市住生活基本計画」について

基本計画は2012年（平成24年）3月に策定され、5年後の2017年（平成29年）は、改訂の年となる。来年2016年度は、改訂に向けての基礎調査の実施と、基本計画の策定作業に着手する大事な年であると考え

る。

- (1) 策定後3年半が経過したが、どう検証してきたか。
- (2) 課題の把握はされているのか。
- (3) 今後どう次の策定に向け、施策の課題をまとめ、住宅や住環境の重要課題の解決にあたる考えか。

4 教育大綱と教職員の労働について

- (1) 策定状況
- (2) 大綱の基本目標・基本方針の実施にあたって、教職員の労働実態はどうなっているのか。
 - ①教職員の健康状態の把握
 - ②教職員の有給取得状況
 - ③教職員の時間外労働の状況
 - ④正規・非正規の実態
 - ⑤課題と展望

質 問 5

質問者 2番 稲 葉 健

1 マイナンバー制度について

- (1) 印西市での対応状況について
- (2) 今後の市の対応について
- (3) マイナンバーカードと住民基本台帳カードの取扱について

2 18歳選挙権に向けての対応

- (1) 18歳選挙権の対応に向けての印西市の取組について
- (2) 教育現場への対応について

3 介護・保育一体運営について

- (1) 「共生型施設」の普及について（現状と今後の取組について）

4 印西市健康増進・食育推進計画について

- (1) 第2次基本計画の基本目標について
- (2) 市の取組について

質 問 6

質問者 3番 小 川 利 彦

1 印西市の防災状況について

去る9月10日、茨城県の常総市において鬼怒川の堤防破堤により甚大な被害が出る自然災害が発生致しました。

印西市は周囲を河川や沼で囲まれており、水害が発生する可能性があると言っておりますことから、印西市の防災に関する事を伺います。

- (1) 常総市への支援について
- (2) 常総市の水害で、印西市として何を学んだのかについて
- (3) 消防団員と機能別消防団員の状況について
- (4) 市職員の災害時の初動態勢について
- (5) 印西市の避難所について
- (6) 印西市の今後の防災行政について

2 印西市の財政について

住みやすい街と認められて4年、地域格差がより進んだ感じのある印西市であります。地域格差是正等の市民からの要望を事業化するにも予算が必要であると思えますし、ニュータウンは子育て現役世代・責任世代の方々が多く居住されていて、市・県民税や固定資産税等の税金は右肩上がりで増収傾向にあると言われておりますが、2025年問題や2030年問題と言われる問題に対して、近い将来の印西市としての対応について伺います。

- (1) 印西市としての収入増に対する考え方について
- (2) 将来の社会保障費の増額時に向けた取り組みについて
- (3) 今後の印西市としての取り組みについて

質 問 7

質問者 4番 玉 木 実

1 児童虐待防止について

- (1) 印西市における児童虐待通告の状況について
- (2) 児童相談所との連携について

- 2 印西市立9中学校における課外活動の実情について
 - (1) 部活動の加入率と活性化の為の外部指導者の派遣状況について
 - (2) 少子化の進む中で、単一中学校の活動が組めていない対策について
 - (3) 部活動補助金交付状況について

- 3 マンション問題について
 - (1) 印西市内のマンションにおいて問題となっているクイ打ち偽装申告について
 - (2) 平成20年マンションアンケートを行った結果と対策について
 - (3) 特に千葉ニュータウン中央駅周辺のマンション建設ラッシュに対して何らかの対策について

- 4 印西市において南北道路の一体化連携の促進について
 - (1) 狭い危険な道路の竜ヶ崎線の渋滞緩和対策について
 - (2) コスモス道路の早期開通促進策について

質 問 8

質問者 7番 浅 沼 美弥子

- 1 高齢者の肺炎球菌ワクチン接種について
 - (1) 接種率等の現状はどうか。
 - (2) 接種による医療経済効果を把握しているか。
 - (3) 接種率等を向上させるための対策にどう取り組むか。

- 2 子育て支援について
 - (1) ロタワクチン助成事業についての動向。
 - (2) ひとり親家庭の支援拡充について
 - ①ひとり親家庭の所得の現状を把握しているか。
 - ②児童扶養手当の加算額の現状をどう考えるか、市独自加算の考えはないか。
 - (3) 妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援について
 - ①現状としてどういうところが切れ目であると考えているか。
 - ②安心して子供を産むための環境・支援は十分か。

③企業で子育て家庭を支える取り組みをどう推進するのか。

3 生活習慣病予防策について

(1) 特定健診・特定保健指導事業

①実施状況と評価

②課題と今後の対応策

(2) メタボ予備群対象者が県内ワースト2だが、その原因と汚名返上のための施策について伺います。

質 問 9

質問者 12番 中 澤 俊 介

1 スポーツ振興について

(1) ラグビーワールドカップ2019や東京オリンピック2020を契機とした地域活性化をどう考えているか

①文化プログラム・ホストシティ構想・事前合宿の誘致

2 監査制度について

(1) 3年連続決算不認定となったことへの対応をどう考えているか

①包括外部監査の導入

3 暮らしの安心・安全について

(1) 防犯への取り組みはどうか

①防犯組合の支援

②防犯カメラの設置基準

(2) 有害鳥獣対策はどうか

①生態系への影響

②野生鳥獣肉（ジビエ）の普及

4 グッドマンビジネスパーク千葉について

(1) 将来都市像をどう考えているのか

①鹿黒南地区周辺のまちづくり

質 問 10

質問者 16番 山 本 清

1 北総線運賃値下げについて

- (1) 今年、北総鉄道、京成電鉄とどのような交渉をしたか。
- (2) 大幅値下げへの見通しはどうか。値下げに向けて、印西市として何をしていくのか。
- (3) 株主として何をしていくのか。

2 横断歩道の破損について

- (1) 市内の横断歩道の破損状況はどうか。
- (2) 最近、どのような修復がなされたか。市として県警にどんな働きかけをしたか。
- (3) 修復の優先順位はどうなっているのか。

3 オリンピック誘致について

- (1) 事前キャンプ地、競技場の印西市への誘致はどうなっているか。

4 英語教育について

- (1) 小学校の英語の教科化に向けて、どんな準備をしているか。カリキュラム編成、教員の確保・養成、教材開発などはどんな状況か。
- (2) 英語の「4技能化」に向けて、中学英語の授業はどのように変わっているか。
- (3) 英語の大学入試改革について、どのような事実を把握しているか。小中学校の英語の授業をどのように対応させていくか。

5 買い物難民対策

- (1) 滝野地区、高花地区への商業施設誘致について、市はどのように動いているか。
- (2) 買い物難民対策として、どのような政策を実施、計画しているか。

質 問 1 1

質問者 15番 松 尾 榮 子

1 地球温暖化対策について

地球温暖化等による異常気象が続き、今年も台風、集中豪雨、土砂崩れ等の災害が数多く発生した。これらの被害は年々大きくなってきており、災害対策が近年の行政最重要課題の一つになってきている。異常気象の要因となっている地球温暖化への対策は、一刻も早く、全地球的に取り組まなければならない課題である。そこで伺う。

(1) 印西市の環境問題への主な取り組みと実績

- ①里山・樹林地・水辺環境の保全の状況
- ②地球温暖化対策の推進について
- ③マイバッグの利用促進について

(2) 市有施設の屋根等を活用した太陽光発電事業について

- ①事業の概要
- ②応募の状況
- ③今後の予定

(3) 大型生ごみ処理機実証実験について

- ①概要と現況
- ②今後の予定

2 景観計画について

合併、千葉ニュータウン事業の終了と様々な経過を辿ってきた印西市において、市内各地区がそれぞれ魅力あふれる景観のまちづくりを進めていくために、景観計画の策定が待たれる。市は平成26年10月7日、県内29番目に景観行政団体に移行し、これから本格的に景観計画の策定等の景観行政に取り組んでいくものと期待される。そこで伺う。

(1) 景観計画策定に向けての基本方針

(2) スケジュールと進捗状況

(3) 景観条例について

3 高齢者福祉（認知症対策）について

市内でも認知症等、要介護高齢者の増加が進んでいる。今後急激な高齢化が予測される中で、高齢化が進展しても安心して暮らせる地域づくりのために伺う。

(1) 認知症対応型施設整備と利用（待機）状況

- (2) 入所者の状況確認について
- (3) 在宅独居高齢者の認知症等の状況把握と対応
- (4) 老老介護、認認介護への支援
- (5) 徘徊・行方不明の件数
- (6) 高齢者等地域見守りネットワーク事業の現況

質 問 1 2

質問者 17番 軍 司 俊 紀

1 マイナンバー制度と印西市の対応について

来年1月から、マイナンバーの実施にあたり、通知カードが印西市でも送られてきているが、制度実施にあたり、マイナンバー制度の周知は充分か。

- (1) 現在、市役所に「届いている」通知カードはどのくらいあるのか。最終的にはどのくらいになると見込んでいるのか。
- (2) 所在不明者についてはどのように行方を追うことを想定しているのか。
- (3) マイナンバーの制度周知は充分に行なわれているのか。
 - ①市民に対しては充分か。
 - ②市内企業に対しては充分か。

2 印西市におけるリハビリテーションについて

印西市の高齢化率は年々上昇しており、さらに今後、千葉ニュータウン居住者が高齢者に達することから、急速に上昇することが予想されます。

生和会による「千葉ニュータウンリハビリテーション病院」計画がなくなり、印西市ではどのように高齢社会における地域医療を考えているのか。

- (1) 印旛医療圏の病床維持に対して、市は県と十分な情報共有を行っているのか。
- (2) 急性期医療から安心・安全な地域生活に繋ぐために印西市ではどのような地域医療を県と考えているのか。

3 保育園の運営について

11月16日の「子ども子育て会議」では、2つの議題を議論したと聞く。印西市の保育環境は今後どのようによくなっていくのだろうか。

- (1) 認可外保育園について
会議では平成28年度、平成29年度の新規開設予定について資料が配布

され、委員間で確認されたようだが、今後の人口推移や保育者ニーズを考えると認可外保育園についてもニーズはあると考える。現状と今後について議論されているのか。

(2) 時間外保育料について

1 1月2日に印西市では保護者向けに時間外保育料の徴収をする旨の文書を配付した。この文書を巡って複数の保護者より苦情があった。印西市では「時間外保育料」の徴収にあたっては12月議会に条例を上程するとしているが、時間外保育料をとらないという判断はできないのか。

4 学校適正配置審議会と保護者意見について

(1) 小倉台小学校・原小学校では、運動会や入学式などにおいて保護者から子どもが見られない、入れないという苦情が入る。審議会において、このような保護者意見について議論し、学校の適正配置について考慮にしているのか。

(2) 審議会では小規模校3校の保護者に対して、今後の運営についてアンケートを取り、議論の参考としたようだが、具体的な動きは来年度から再来年度にかけてあるのか。

(3) 東京電機大学移転後の小・中学校転換を会派「新政」では提案し、複数の保護者より推進してほしいとの意見が寄せられているが、市当局としては校舎の利活用を含め、大学側と話しあいを行っているのか。

(4) 7月25日に行われた西の原小学校、原小学校での「通学区域の変更」に関する説明会の結果、①具体的な「越境入学」の希望数はどうなっているのか。②交通安全対策は来年の入学までに間に合うのか。

5 北総鉄道について

(1) 運賃値下げについて

①平成28年度当初予算策定段階の現在、市では北総鉄道に対する補助金は計上されているのか。

②「値下げ」に関する具体的な活動実績はあるのか。

(2) 安全対策について

①市民から「ホームドア」についての要望を聞いているが北総鉄道と議論したことはあるのか。

(3) 利便性の向上について

ダイヤ改正が12月5日に行われるが、市として現在、今後要望している事項はあるのか。

6 放射能・放射線問題について

(1) 甲状腺検査について

今年までに近隣自治体では我孫子市、松戸市、柏市で実施し、また、民間団体が千葉市や柏市、白井市で実施しているが、印西市ではどのような見解をもっているのか。実施予定はないのか。

7 印西牧の原駅圏の将来について

(1) 郵便局の開設に向けて

具体的に誰が運営し、開局時期は決まっているのか。以前に牧の原地区への開設要望の際に話があった「他の特定局を閉鎖し、閉鎖した特定局の代わりに開設」という話はないと考えてよいのか。

(2) 商業施設について

①牧の原駅北口、滝野S C跡地について現状はどうなっているのか。

②市民から牧の原モア、BIGHOPの活性化に関する提案は市にあるのか。

(3) 交通安全対策に対する要望が複数箇所あがっているが、警察と連携を充分とっているのか。

①信号の設置要望（「牧の原」地区を含む）について

②交通規制のための横断歩道などの白線について

質 問 1 3

質問者 18番 金丸和史

1 データヘルス計画の進捗状況について

(1) 計画策定はどの程度進捗しているのか。

(2) レセプト情報の活用はどうしているのか。

①マイナンバー制度の関連付けの準備は進んでいるのか。

(3) 健診データの活用はどのようにしているのか。

(健康増進課との連携について)

2 マンション管理組合への横断的な施策展開について

(1) 相談窓口は横断的に行うべきであると考えているが、横断的に行っているのか。

(2) 管理組合の集会所を補助対象とする是非の議論はどこまで進んでいるのか。

(3) LED化、大規模修繕、一括受電、業者一覧等の閲覧など有益情報の提

供は行っているのか。

- (4) 管理組合へのアンケート実施結果はどのようになっているのか。
- (5) 集会施設の防災拠点としての位置づけはどのようになっているのか。
- (6) 自主防災組織の設置形態は、どのようになっているのか。

3 オリンピック誘致関連について

- (1) 順天堂大学との連携は現在どのように進んでいるのか。
- (2) 世界大会の市民への周知についてはどのように行っているのか。
- (3) スポーツクライミング競技とのコンタクトはとっているのか。

4 学校問題対策指導員の処遇について

- (1) 現在、どのように活用されているのか。
- (2) 今後、ますます必要度が増すと思われるが、今後はどのように処遇していくのか。

質 問 1 4

質問者 1 番 伊 藤 真 一

1 農産物の地産地消について

印西市の基本計画にもある、地産地消の推進について、現状の確認と今後について質問いたします。

- (1) 今年度における、地産地消の拠点となる直売所への取り組みについて、「いんザイ君バーコード」以外の計画を伺います。
- (2) 直売所の先駆けである「朝市」（夕市も含め）についても、取り組みが必要と考えますが、如何でしょうか。
- (3) 今後における、朝市の集荷所について、地産地消推進の一環として、整備すべきではないでしょうか。
- (4) 米価については、市による価格保証が必要と思いますが、その様にすべきではないでしょうか。

2 生活困窮者への対応について

先般、生活困窮者への市の対応について、不安に思っている市民が多い為、確認いたします。

- (1) 「住宅扶助費」の上限引き下げについて、印西市ではどのような対応を

取ったのか伺います。

- (2) 障害者向け「日常生活用具給付」において、対象者の資格があるのに却下される方がいると聞きますが、その理由を伺います。

3 クリーンセンター移転の対応について

現在、吉田地区へのクリーンセンター移転の話が、着々と進んでいる状況ですが、「このまま進めて本当によいものなのか」という話を、多くの市民から寄せられていますので、伺います。

- (1) 一旦、進めている話をストップして、もっと多くの市民からの話を聞いてからでも、遅くはないと思いますが、如何でしょうか。
- (2) コスト面等の比較は、今までの調査結果だけで、十分なのでしょうか、伺います。

質 問 1 5

質問者 5番 米 井 重 行

1 道路進捗状況確認

- (1) 北千葉道路早期全面開通に向けた市の取り組み
- (2) コスモス道路未買収地の取得状況

2 市制施行20周年記念事業

- (1) 現時点の事業の大枠の詳細について

3 コミュニティセンター

- (1) イベント等の近隣小学校との連携

4 ふるさと納税

- (1) 品目の現状と今後の考え

5 地元業者育成

- (1) 災害時等の協力に対し市としての評価
- (2) 地元業者との連携に対し市長の考えを伺う

質 問 16

質問者 21番 橋本和治

- 1 「災害廃棄物処理計画」策定の推進について伺う
- 2 犯罪被害者等の支援
 - (1) 本市の取り組みについて伺う
 - (2) 犯罪被害者等への支援体制の整備について伺う
 - (3) (仮称)犯罪被害者等支援条例の制定について伺う
- 3 市の債権管理の現状及び今後の取り組みについて伺う

質 問 17

質問者 8番 岩崎成子

- 1 平成28年度の予算編成並びに重点施策について
 - (1) 予算編成の基本的な考え方について伺います。
 - (2) 予算の規模について伺います。
 - (3) 財政の見通しについて伺います。
 - (4) 平成28年度の重点施策について伺います。
- 2 公共交通の充実について
公共交通の充実を推進していくことは、市民の皆様の大きな願いです。そこで伺います。
 - (1) コミュニティバス運行事業の現況について
 - (2) 交通不便地域解消策の進捗状況について
 - (3) デマンド交通への取り組みの進捗状況について
- 3 消防団の充実強化について
印西市民の生命、財産を守る活動を行っている消防団の充実強化は本市にとって必要不可欠です。そこで伺います。
 - (1) 消防団員の現況について

(2) 消防団員確保のための施策について

(3) 消防団への協力体制について

4 にぎわい創出のまちづくりについて

当市の新しい魅力あるまちづくりは、にぎわいの創出を推進していくことが重要と考えます。そこで伺います。

(1) 各駅圏のにぎわい創出施策についての認識を伺います。

①印旛日本医大駅圏

②印西牧の原駅圏

③千葉ニュータウン中央駅圏

④木下駅圏

⑤小林駅圏

(2) 印西・印旛・本埜地域のにぎわい創出施策についての認識を伺います。

5 「市道山田・平賀線」について

市道山田・平賀線は、通行量が県道と同等となっています。朝夕の交通渋滞や夜間の騒音問題等解決していかなければならない課題が山積しています。

そこで伺います。

(1) 大型車両の通行による騒音問題の解決策について伺います。

(2) 大型車両の通行による道路補修問題について伺います。

(3) 交通渋滞を解消するための施策について伺います。